



議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

9月定例会



町民との意見交換会

目次

- 2～3 … 9月定例会・主な財政指数・意見交換会
- 4～10 …………… 一般質問
- 11 …………… 提出議案結果報告/臨時会/議長交際費
- 12～13 …………… 決算特別委員会審議
- 14 …………… 各常任委員会の審議
- 15 …………… 議会改革アンケート結果
- 16 …… 陳情/議会のうごき/合同中央研修会/緊急要望書提出/編集後記



令和4年度

一般会計・特別会計決算を認定しました

一般会計

実質収支額

2億335万7千円

- 歳入総額 41億51万4千円
- 歳出総額 38億9,020万6千円
- 差引額 2億1,030万8千円
- 翌年度繰越財源 695万1千円

歳出の主なもの (千円未満四捨五入)

総務課関係

- 新庁舎建設工事(旧庁舎解体ほか) 2億832万9千円
- 湖東厚生病院運営費補助金 1,211万4千円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 5,031万0千円
- 南秋地域公共交通活性化協議会負担金 687万2千円
(マイタウンバス・デマンドタクシー運行)

健康福祉課関係

- 社会福祉協議会事務局職員設置費補助金 1,857万1千円
- 予防接種等委託料(コロナほか) 4,911万7千円
- 施設型給付費(認定こども園運営給付費) 1億1,426万2千円
- 検診委託料(総合健診事業) 1,212万1千円

建設水道課関係

- 除雪委託料 1,358万3千円
- ふれあいロード橋補修工事委託料 8,209万1千円
- 町営住宅改修工事(家の後) 862万0千円

住民生活課関係

- 結婚祝い金事業(6組) 60万0千円
- 出産祝い金事業(18人) 54万0千円
- 空き家解体費補助金(2件) 100万0千円
- 防災行政無線外子局改良工事(3か所) 2,354万0千円
- 福祉医療費(高校生まで無料) 4,605万5千円

産業課関係

- 湛水防除事業負担金(真坂・夜叉袋排水機) 376万5千円
- 高岳地区ほ場整備事業費負担金 1,955万8千円
- 多面的機能支払交付金(7地区) 3,955万4千円
- 農業経営支援交付金(コロナ交付金) 1,271万1千円

教育課関係

- 館の下遺跡発掘作業委託料 1,876万4千円
- スクールバス運行管理委託料 512万9千円
- 学校給食費助成金(給食無料化) 1,491万7千円
- 学校長寿命化改良工事(小中併設校) 1億6,104万0千円

○国民健康保険特別会計

歳入総額	9億195万4千円
歳出総額	7億2,684万5千円
実質収支額	1億7,510万9千円

○介護保険特別会計(保険事業勘定)

歳入総額	10億2,285万5千円
歳出総額	9億8,081万4千円
実質収支額差引額	4,204万1千円

○公共下水道事業特別会計

歳入総額	2億9,546万5千円
歳出総額	2億7,980万3千円
差引額	1,566万2千円
翌年度繰越財源	1,203万1千円
実質収支額	363万1千円

○介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

歳入総額	496万3千円
歳出総額	496万3千円
実質収支額差引額	0円

○後期高齢者医療特別会計

歳入総額	8,727万4千円
歳出総額	8,762万7千円
実質収支額	△35万3千円

○上水道特別会計

収益的収入	1億5,368万4千円
収益的支出	1億4,878万7千円
当年度純利益	83万9千円
前年度繰越利益剰余金	1億3,586万1千円
当年度末処分利益剰余金	1億3,680万0千円

主な財政指数

◆財政の分析

単位：％

	4年度	3年度	比較
経常収支比率※1	83.4	83.1	0.3
実質収支比率※2	8.8	8.6	0.2
公債費比率※3	7.6	7.8	△0.2
実質公債費比率※4	11.5	11.7	△0.2

※1 財政のゆとりを見る指標。75%を上回らないことが望ましい。

※2 純粋な収支を見るための指標。3～5%程度が望ましい。

※3 公債費と一般財源の関係を見る指標。10%を超えないことが望ましい。

※4 収入に対する地方債返済の割合を見る指標。18%以上になると県の許可が必要。

◆基金残高

	4年度	3年度	差引
地域振興施設整備基金	50,193	50,191	2
財政調整基金	2,236,183	2,368,720	△132,537
減債基金	99,457	99,455	2
地域福祉基金	70,202	70,200	2
まちづくり人材育成基金	4,127	4,126	1
国保財政調整基金	100,001	100,001	0
ふるさと保全対策基金	5,000	5,000	0
八郎潟町がんばれふるさと基金	14,267	15,294	△1,027
介護給付費準備基金	16,658	22,694	△6,036
森林環境譲与税基金	5,487	4,226	1,261
公共施設解体基金	5,002	7,601	△2,599
合計	2,606,577	2,747,508	△140,931
奨学基金（貸付金）	2,040		
〃（運用資金）	15,656		
計	17,696		

単位：千円

◆地方債残高

単位：千円

	4年度	3年度	差引
地方債	3,082,282	3,329,164	△246,882



町民との意見交換会の主なご意見

開催日 7月28日(金) 午後6時～
 八郎潟町駅前交流館「はちパル」交流ホール 町民 13名

◎八郎潟町議員定数(現在12人)についてどう思いますか。

- ・増やす場合、減らす場合のメリット、デメリットを出してほしい。
- ・12名ではダメなのか何か問題があるのか、説明がない。
- ・2期無投票があって議員のなり手不足があるが議会側では対応しているのか。
- ・チェックマンだけであれば少なくともいい、建設的な意見を出す議員であればもっといてもいい。
- ・議会側でまとめたうえで町民に問いかけるべき、数字先行はおかしい。
- ・なり手不足の解消であれば議員定数を減らしても解決しない。

◎八郎潟町議員の報酬(現在18万6千円)についてどう思いますか。

- ・日頃の活動が見えない、報酬アップは反対です。
- ・議員がどういう仕事をしているのかよくわからない。
- ・議員は仕事をしていないから報酬は低いのだ。
- ・報酬を上げると議員を少なくしないといけない。

◎八郎潟町議会に政務活動費を導入することについてどう思いますか。

- ・議員が日々どういう活動をしているか、必要があればあってもいい。
- ・使い道を申請して出すのはいいが、月額で出すのはわかりにくい。
- ・使途が分からなくて一律1万円、2万円と言うのであればやめてもらいたい。

◎八郎潟町議会にタブレットを導入することについてどう思いますか。

- ・議員がタブレットを使いこなせるのか、議員全員がスマホ、メールやっていますか。
- ・ペーパーよりデータ化できるのでタブレットは是非進めるべき。
- ・ネットに議事録の掲載が遅い、タブレット化すれば早くなるのか。

◎その他町政一般に関すること、はちらぼの経営に関すること、民間活動団体への理解などのご意見がありました。今回のテーマから外れているところは省略いたします。



9月定例会 一般質問

6議員が町政に対し質問

9月7日の本会議において一般質問が行われ、6議員が質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

◆ 質問者

柳田 裕平 議員 (一問一答)

- 1、 「B&G海洋センター」の改修工事について
- 2、 一日市商店街の街路灯について

金 一義 議員 (一問一答)

- 1、 地域応援商品券交付についての取り組みは
- 2、 本町の小学校・中学校修学旅行費用の全額補助について
- 3、 インボイス制度の導入に対しての町のサポートについて
- 4、 我が町の街路樹伐倒についての考え方を示してください

北嶋 賢子 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、 少子化対策に対する私のもやもや
 - ① 児童手当
 - ② 出産の経済的負担
 - ③ 育児負担と共働き共育て
 - ④ 高等教育、奨学金の減額と返還制度

小柳 聡 議員 (一問一答)

- 1、 超高齢化社会を見据えて
- 2、 今夏の異常気象から将来を見据えて

畠山 一充 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、 認知症対応の取り組みについて
- 2、 地域商品券交付事業について
- 3、 災害時の連絡体制について

加藤千代美 議員 (一問一答)

- 1、 災害対策について
- 2、 不慮の事故 (不注意・不可抗力)
- 3、 水田活用の直接支払い交付金について
- 4、 学校給食について



一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。
また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一般質問

「B&G海洋センター」の改修工事について



柳田 裕平
議員

町として、今年度から「海洋センター」の改修工事に取り組むことになりました。今年度が鉄骨・塗装関係と上屋シート、来年度がボイラー等機器の入れ替え、再来年度がプールの缶体・プールの排水設備・更衣室とトイレ等の工事を実施する予定であります。プールは主に小中学校の授業や幼稚園・保育園などに利用されております。異常気象による暑さ対策や災害時での活用などで、将来は町民にとっても必要な施設になる可能性があるのではないか。

問 今年度の工事でB&G助成金限度額が0円になるようですが、本町としてこの助成金制度を今後も維持することになるのでしょうか。また、今後3年間での工事完了は可能なのでしょうか。

教育長 今年度の工事は、B&Gからの助成金制度2,630万円を受けて総額8,960万円の工事になります。それに来年・再来年も高額の工事ということで、3年間での改修は確定という訳ではなく助成金の状況を見ながら出来るだけ早めに来ればということでもあります。また今回と同様、「特A」が完了する令和10年まで3,000万円の助成金を目指して参ります。

問 再来年に予定されている更衣室・トイレ・シャワー室については、建物そのものも含めて全てにおいて老朽化が進んでおりますので新築にしたい方が現実的であると考えますがどうでしょうか。

教育長 新築の場合は5億円程度の積算になり、1億円程度のB&G補助金があっても町負担が莫大になります。

一日市商店街の街路灯について

八郎潟町街路灯会が維持管理している一日市商店街の街路灯ですが、会員減少による財源確保の厳しさ及び電気料金の高騰などにより数年前から引当金を切り崩して運営せざるを得ない状況になっております。また、最近の異常気象により街路灯の故障が多くなり来年度から定期的な清掃が必要となりました。(年間40万円の工費が必要) そういう事情で街路灯会としては街路灯維持管理を町当局に移譲することを第一に考えることとして、却下の場合は年間50万円程の町助成金をお願いする趣旨の要望書を畠山町長に提出することにいたしました。要望書はすでに畠山町長にも届いていることと思われ、町当局が移譲を受けるとしても毎年助成するにしようとする結論の出るような事案でないことは承知しております。ただ町民のことを思えば、

将来に向けて商店街の灯りを消すわけにはまいりません。町長の見解をお願いいたします。

町長 街路灯会の消失は町としても残念なことです。ですので、しばらくは街路灯の維持管理を望みます。いよいよ厳しくなった時は、補助金等の検討をしたいと思っております。

問 いずれにしても、近い将来には街路灯会の体力も底をつき町当局に全権移譲をしなければなりません。試算ですが、町当局と街路灯会が互いの知恵を出し合い最良の解決策を検討することにしようか。

町長 街路灯会が無くならないように、お互いが解決策を考えていきたいと思っております。



B&G海洋センター



一日市商店街の街路灯

一般質問

地域応援商品券交付についての 取り組みは



金 一義
議員

問 井川町、五城目町が8月に地域商品券交付がなされて、我が町ではどうなっているのかとの、町民からの問い合わせがありましたが、今回の9月定例議会に補正として議案を上程としてありますが、なぜ本町では10月交付に至ったのか質問させていただけます。コロナ禍とロシアによる、ウクライナ侵攻によって物価の上昇や原油高による各種燃料の高騰など住民生活に負担感が増しているところですか。総務省によりますと、昨年度の平均の消費者物価指数は生鮮食品を除いた指数が前の年度より3.0%上昇したとあります。3.0%の上昇率は第2次オイルショック1981年以来です。今回の交付については、井川町・五城目町が交付に至ったので、本町でも10月の決断をし

たのか、また来年度の発行があるのかも説明ください。
町長 国の交付金、これが出しきりしてからやりましょうということ、今日9月定例会に予算を提出した次第です。また、来年第7弾の交付については、国の補助金がなければ、財政面ではかなりきついものがあると思います。
問 2020年5月にコロナ禍により政府より中小企業への支援策として、3年間の無利子無担保で貸し出されたゼロゼロ融資については、今日返済期限を迎えています。物価高騰で思うように業績は回復しない今日、返済期限を迎え苦況に立たされている事業者もありません。そこで、五城目町・井川町の両町ではゼロゼロ融資の借主の返済期限をさらに2年間の「利息1.15%、1.35%」を行政で負担し無利子無担保で「計5年間の」借入延長の政策を今行っています。また、秋田市では、10年間計13年間の支援体制をとっていますが、

我が町での取り組みは聞かえてきませんが、どうなっていますか。お知らせください。
町長 詳細な実績を把握しておらないので、後で調べながらお答えするつもりだと思います。

本町の小学校・中学校修学旅行費用の全額補助について

問 本町でも、給食の無償化・来年度からの新1年生へのランドセルの提供等ありますが、我が八郎瀧町が子育てがしやすい町、支援の行き届いている町を目指しているのであれば、小・中学校修学旅行費用の全額町負担の補助での実現をお願いします。
教育長 毎年全額補助金を継続していくとなると、現時点では厳しいと考えます。保護者の経済的負担の軽減を図る観点から、全体経費の一部を補助することの検討は必要と考えています。

インボイス制度の導入に対しての町のサポートについて

問 国では、(2019年)10月1日に始まった消費税10%への引上げと複数税率の導入に関連して、令和5年10月1日よりインボイス制度の導入を決定しています。これは、消費税を納める必要のある企業や個人事業者にももちろん、免税事業者にも大きく影響を与えると考えられます。インボイス制度は消費税を納めべき事業者に納めさせ、納税の透明性と公平性を確保するとあります。ここで、免税事業者への今後の町のサポートについての考えはないか伺います。
町長 町では、昨年11月に税務署主催の3町の説明会を駅前交流館はちパルで行い、広報でも周知しております。町へ相談があった場合には税務署と連携し、今後も制度周知に努めます。

我が町の街路樹伐倒についての考えを示してください

問 最近街路樹の伐倒で世間を賑わしている自動車販売会社の話題で持ち切りですが、我が町でも真坂鳥屋崎団地と上層根の街路樹の伐倒に町民の意見がありましたので、質問します。まず、鳥屋崎団地の街路樹植樹に係された方が松の木10本の伐倒現場を見てびっくりしたとありました。
町長 令和2年地元町内会からの要望を受け、伸びた枝や落ち葉が民家に影響を及ぼすとあり、今年度の町内会長会議の中で、北側エリアと南側エリアに分けて、5年度と6年度に伐倒を予定している。
問 次に、上層根地域「薬王堂前」町の指定木であるケヤキ5本の伐倒について伺います。
町長 伐倒した箇所は、冬期間に町道を除雪した雪の仮置き場としております。そのための伐倒です。

一般質問

少子化対策に対する私のもやもや



北嶋 賢子
議員

①児童手当

問 少子化が大変だと騒いでも、子供の数がどんどん減っています。岸田内閣は2024年10月分から、第3子以降から月額3万円を支給する、としています。が、上の子が高校を卒業時点で2人となり現行と変わらないとのこと。1人目から対象とした方がこどもの増につながると思いますが、**町長** 異次元の少子化対策として、児童手当の拡充が発表されました。所得制限の撤廃により、主たる生計者は対象外になつていたが、年収1,200万以上の場合、全てのこどもにも支給される事になり、高校卒業まで月額1万円が支給され、1人目が19歳になっても支給され恩恵は受けられる。

②出産の経済的負担

問 2026年度を目途に保険の適用を導入するとしています。やっと今になってと思います。女性にとって妊娠、出産での身体的負担は命がけです。子供を産み育て、女性に負担がかかって当然のシステムが少子化を招き、保険の適用は当然の事と思います。が、財源が75歳以上の後期高齢者の保険料の引き上げとなると。

町長

2026年度を目処に、出産費用の保険適用の導入に向けて支援の強化が示されています。財源は、74歳以下の保険料で賄っていたが、2024年から比較的收入の高い、後期高齢者からも応分の負担を求めるとなる。



③育児負担と共働き共育

について

問 男性の育児休暇の取得を推進する事自体は良い事と思います。男性の育児休業取得率を2030年までに85%にする。新米父親の育児給付金は、職場復帰の保証はあるのか。食事の準備をする息子達の家族を見ていると時代を感じます。八郎潟町の場合は。

町長

当町には、単独でやる男性の育児休業制度は無く、また現在育児休業の職員もいない。国では、男性の育児休暇の取得率を2025年まで50%、2030年まで80%に引き上げる。昨年度は過去最高の17%になったが、目標までは程遠い。育児給付金は雇用保険に加入し、始めの6ヶ月は休業賃金の67%。以降は50%となる。育休中は、社会保険が免除され非課



税なので負担が軽減される。事業主は、男性の育児休業の取得により、解雇や退職等の不利益な扱いを禁止されている。

④高等教育、奨学金の減額と返還制度

問 若い世代を教育費の負担から解放する必要があり、高校も大学もとなると難儀をしている人もいます。町の実は。

教育長

奨学金は、約3,200万の基金で賄っている。運用資金は、1,600万で年間400万各年度3名程度対応している。平成30年に選考基準が緩和された。希望者全員が審査を通過している。無償や制度の変更となると選考基準の見直しをはかる事となる。



一般質問

超高齢化社会を見据えて



小柳 聡
議員

問 現在第8期介護保険事業計画の最終年となるが、第9期策定にあたり保険料の設定の検討はどのようにされているのか。

町長 9月よりサービスマン見込み量等の設定作業が始まり、国の情報システムである地域包括ケアモデル化システムを利用して保険料の仮設定が行われる。保険料については今の段階では検討していないが今後介護保険運営協議会を開催して、意見を集約し3月議会定例会には第9期介護保険事業計画としてお示しいたします。

問 第8期の3年はコロナ禍であった。個別訪問の減少や運動教室等もなかなか実施出来なかったかと思う。そういった事も含めて検討してほしい。
健康福祉課長 人口動態の変化への対応等、地域課題を見極めて第9期介

護保険事業計画に反映したいと思います。

今夏の異常気象から将来を見据えて

7月15日に発生した記録的豪雨では本町でもたくさん被害を記録しました。河川改修に関しては被害が大きかったエリアから浚渫がようやくスタートするという情報がありますが、「河川整備は下流から」というのは何度も耳にしてきた言葉です。八郎潟町としては下流からの改良工事を一体的に要望すべきと考えるが町としての見識を伺う。



浚渫・洲ざらい工事予定箇所 (R285号線付近)

町長 河川管理者の秋田県によりますと令和5年度は五城目高校付近から国道285号上流側の伐木と洲ざらいを実施し、令和6年度からは国道7号から秋田自動車道までの区間の伐木と洲ざらいの実施に向けて予算要望すると回答を得ている。これまでも機会があるごとに浚渫の要望をしており、移動振興局においても馬場目川全体の浚渫要望をしている。県では流下能力の阻害している箇所を緊急性・優先度を考慮し対応しており、上流から下流への洲ざらいの予定となっているが、馬場目川の河川改修は改修済みの位置づけとなっており、今後伐採及び洲ざらいの維持管理事業を実施していくと回答を得ている。しかしながらこれまでの大雨被害の状況といたしましても地域住民の不安解消と安全安心な生活を守るためにも今後要望を継続して参る。

高温により8月8日～11日まで運動部の活動を休止、12日～16日は学校閉庁日、さらには8月21

日～25日の活動も休止となりました。高温が予想される中で練習を通常形で実践するのは無理があり、判断が間違っているとも思いません。ですが、「練習してもよい」「練習はダメ」この100かゼロの二択しか選択肢がないことに個人的には違和感を覚えます。例えば

- ・日中の時間帯を避ける、または短時間での軽いメニュー
- ・簡易的な冷房設備を準備して屋外種目も含めて体育館での利用を割り当てる
- ・など、選択肢を増やしてあげられないかと考えます。おそらく今後も猛暑の年は続きます。だからこそ当事者の思いも汲み取った線引きを作ってほしい。

問 部活動等の実施不可判断の見直しを。
教育長 次年度以降も夏場には猛暑になることが予想されますので、安全面を考慮して体育館に冷房設備を装備出来ないものか検討していかねばならないと考えていま

す。
公共施設等にクーリングシェルターとしての機能を持たせることが出来れば町民の健康維持はもちろん、家庭での電力使用量を抑えることにも繋がるのでSDGsの観点でも一石二鳥になるのではないか。気候変動適応法が令和5年4月に改正され熱中症対策の項目が追加されました。例えば

はちパルであれば図書館や交流ホールで涼んでいただくことや、保健センター等であれば夏季に介護予防教室等を開催しつつ、その前後の時間に涼んでいただく仕掛けを増やすことで利用者の増進を図っていく事も可能ではないか。

問 公共施設をクーリングシェルターとしての活用を検討してほしい。
町長 来年度、冷房設備があり常時職員がいる役場庁舎やはちパル等をクーリングシェルターとして指定する方向で検討する予定です。

一般質問

認知症対応の取り組みについて



畠山 一充
議員

問 提案として、認知症高齢者・障がい者等保護情報共有サービス「どこシル伝言板」(以下、「伝言板」という。)の取り入れであります。伝言板は、認知症になってからも安心して暮らせる町づくりを目指すし、QRコードの読み取りで発見・保護・帰宅までの早期解決として、地域の見守り事業をサポートします。認知症の人や障がいをお持ちの方等の保護時に、個人情報を開示することなく、早期帰宅に繋げるサービスです。認知症が安心して暮らす

提案として、認知症高齢者・障がい者等保護情報共有サービス「どこシル伝言板」(以下、「伝言板」という。)の取り入れであります。伝言板は、認知症になってからも安心して暮らせる町づくりを目指すし、QRコードの読み取りで発見・保護・帰宅までの早期解決として、地域の見守り事業をサポートします。認知症の人や障がいをお持ちの方等の保護時に、個人情報を開示することなく、早期帰宅に繋げるサービスです。認知症が安心して暮らす

“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



せる社会の実現に向けて、是非ご検討願います。

町長 秋田県内では、令和4年度時点で13市町村が導入しており、近隣では令和3年度から大潟村が導入し、配布件数0件、令和4年度から五城目町、三種町が導入しており、それぞれ配布件数

問 地方創生臨時交付金と自治体の繰越金一部を充当し、商品券を交付することに、バラマキと思われがちです。個人として地域商品券交付については、全町民への公平な支援並びに小売・サービス業等の事業者支援として、賢明な施策であると思えます。地域商品券交付の考え方に

地域商品券交付事業について

は2件と1件となっておりませんが、事例は無いようです。町では、行方不明になる恐れのある高齢者等に事前に登録して頂き、事案発生時に当該高齢者等の早期発見に繋げられるようにするため警察や関係機関等、協力体制を構築する「地域で見守る認知症SOSネットワーク」を進めた上で考えて参りたいと思えます。

町長 一般のエネルギー価格や食料品等の物価高騰は、全町民に等しく影響を及ぼし、家計圧迫や購買意欲の低下等大変

問 提案として、災害時の気象情報の活用や連絡体制の確認を目的とした、公務員向け研修会の開催です。内容は、県秋田地域振興局と秋田地方気象台の協力の下、近隣自治体・秋田河川国道事務所・五城目警察署・湖東消防本部・陸上自衛隊秋田駐屯地などからの参加で、架空の町に台風が接近し、河川の氾濫で洪水が発生したとの想定演習です。災害は、様々な情報が発信されます。どの機関が情報の収集や発信を担っているのか、普

災害時の連絡体制について

しい状況であることから、経済対策が必要であると考えております。この現状を踏まえ、町民の皆さまへの家計支援並びに町内の事業者支援策として、所得制限等を設けず10月1日を基準日として全町民を対象に1人1万円の第6弾地域商品券を発行する為の関係予算案を本定例会に提出して参ります。



7月15日 豪雨被害の様子

段から把握しておくことで効率的な対応に繋がると思えます。どうか、風水害等あらゆる災害に強い町づくりを目指し、是非ご検討願います。

町長 想定演習の実施については、なかなか難しいと思いますが、現在、秋田県消防協会男鹿潟上南秋支部の主催により、広域的な防災訓練が市町村の持ち回りで毎年開催されており、また、開催地が本町となった際は、地域住民や警察等の関係機関も参加して大がかりな訓練が実施されております。今後も各関係機関との連携をしながら、なお一層、災害に強い町づくりを進めて参ります。

一般質問

災害対策について



加藤千代美
議員

問 この度の災害では、他町に比べて本町は被害が少ないようですが、本町にも天池林道の近くに

民有林か国有林かわかりませんが山があり、見事に頂上から道が付き木がほとんど伐採されており、対して町では、今後どのような行政指導をしているのかお伺いいたします。

町長 森林の立木を伐採する際は、森林法の第10条の8に基づき森林を所有する市町村の長に届けられることとされています。尚、本町の区域内においての森林を伐採する際には、役場に届出書を提出し、内容等の確認の上通知書を届け出者に発送することになります。

再質問 八郎潟町地域防災計画にある、馬場目川の氾濫についての未改修部分については、早期完成が図られるよう関係機関

に要望していくとあるが、これがどの箇所か教えてください。また、八郎潟町にため池が何箇所あるのかも教えてください。

不慮の事故（不注 意・不可抗力）

産業課長 ため池の数は4、5あると認識しています。管理については水利組合で管理していると思います。

問 マスコミ報道で注意を促しているのに会議に出席し、事故にあった時

これも不慮の事故になるのか。むしろ報道を無視して会議に参加した本人に責任があり、不注意による事故に該当するのではないかと考えるがどうか。仮に、不注意となるようなことがあると判断したときには、八郎潟町の災害弔慰金の支給等に関する条例を改正する必要があるのではないか。

町長 外出自粛要請は、とにかく家におることが基本ですが、あくまでもお願いであり不要不急に該当するかは各々に委ねることになっております。

問 この度の八郎潟町の事故について、何故7月臨時議会で内容を公表できないのか。

水田活用の直接 支払い交付 金について

副町長 個人情報なので公表することができない。

問 この制度は農家の米あまり減少・米の価格の下落が生じたことにより

いかにして農家所得を確保するかを考えた末に食糧自給率・自給力の向上に資する麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化とともに、地域の特色を生かした魅力的な産地づくりと畑地化による高収益作物等定着等の支援をするところがあるがこの捉え

方ではよいか伺います。次に、本町においては将来共に何に重点をおいて産地づくりの畑地化を目指しているのか。私が

見て目に止まっているのは枝豆・ネギ等であるが、ほかに何かがあるのか、また、長期展望に立った作物等があったらご教示願いたい。

学校給食について

町長 水田活用の直接支払い交付金については、国民の主食である米の安定供給のほか、食糧自給に資する大豆、米粉用米の戦略作物等の本作化と共に地域の特色を生かした魅力的な産品の産地づくり、畑地化による高収益作物の定着化を目指した制度であります。本町の主な転作物は、大豆、枝豆となつていますが、水田再編協議会、水田強化ビジョンにおいてはキャベツ、ネギ、カボチャ、ほうれん草、ナス、セリを設定している。

問 今、米について大きな話題になってい

ます。5日は紙面に秋田県知事がこまちRについて発言しているが、全県の市町村長会議で話題になったのでしょうか。

町長 私自身はこれが問題となったと思っております。報告は受けました。

その他

中体連の改革について質問しました。

教育長 ほとんどが米食の給食を行っているので、要求に応じていると思います。

令和5年 八郎潟町議会9月定例会 提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第66号	令和5年度八郎潟町一般会計補正予算(第3号)について	全員賛成可決
議案第67号	令和5年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第68号	令和5年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成可決
議案第69号	令和5年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全員賛成可決
議案第70号	令和5年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第2号)について	全員賛成可決
議案第71号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員賛成承認
認定第1号	令和4年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 (反対:北嶋賢子)
認定第2号	令和4年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第3号	令和4年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第4号	令和4年度八郎潟町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第5号	令和4年度八郎潟町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成認定
認定第6号	令和4年度八郎潟町上水道特別会計決算認定について	全員賛成認定
報告第4号	令和4年度八郎潟町一般会計等財政健全化審査及び令和4年度八郎潟町水道事業会計経営健全化審査について	
報告第5号	令和4年度八郎潟町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書について	
追加議案	令和5年度八郎潟町一般会計補正予算(第4号)について	全員賛成可決

第2回 臨時会 令和5年7月20日開催

議案第64号

- 令和5年度八郎潟町一般会計補正予算(第2号)について ▶▶ **全員賛成可決**

歳入	・災害甲慰金負担金(国2/4、県1/4)	3,750千円
	・前年度繰越金	2,492千円

・罹災見舞金(床上浸水7棟)	350千円
----------------	-------

歳出	・災害甲慰金(死亡)	5,000千円
----	------------	---------

・八郎潟町観光協会補助金(願人踊り山形公演)	195千円
------------------------	-------

・スポーツ少年団派遣費補助金(ソフトボール全国大会)	697千円
----------------------------	-------

第3回 臨時会 令和5年8月10日開催

議案第65号

- 工事請負契約の締結について ▶▶ **全員賛成可決**

- ・契約の目的 八郎潟町B & G海洋センタープール改修工事
- ・契約の金額 82,170千円
- ・契約の相手方 潟上市 むつみ建設(株)代表取締役社長 佐々木 徹



■議長交際費の支出状況(7月~9月)

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

分類	件数	金額(円)	内 訳
その他	1	14,000	岩手県、秋田県、山形県合同町村議会議長等中央研修会負担金
計	1	14,000	

決算特別委員会公審議



総括審議

教育課関係

問 小中併設校のコンピューター機器保守委託料の内容は。

答 保守委託料は小学校36台、中学校36台分、計72台分保守点検費用です。

問 コンピューターリース料について小学校と中学校で内容が分かれているのはどういうことか。

答 ソフトウェアのライセンス等も含んでおり、小学校と中学校で使用するソフトが違うため別々となっております。

問 英語が難しいのは聴き取りです。テキストにカナをふって読むのと外国人が実際話すのとは全然発音が違う。ALＴの助手であれば英語に堪能な方を選任したのか。

答 一人は教職員を退職している方で英語が堪能な方、もう一人は英語講師の経験者となっております。

建設水道課関係

問 他町から大雨被害に遭われて本町の町営住宅に入居した方もいると思うが、そういう方の家賃はどのようにするのか。

答 現在被災戸数として10世帯29名が町営住宅に入っています。被災された方は一時使用のため、使用料、敷金は免除となっております。個人負担は光熱水費のみとなっております。

問 町道中央線の排水ポンプは自動で作動するのかわ、職員が作動させるのか。



役場庁舎（現地視察）

問 本来は水位を感知して自動で作動することになっていますが、今回の大雨のような非常時は職員が行って手で作動させるようにしています。

答 町にもその意見は届いていますが、散布業者の（作業の）兼ね合いもあります。引き続き適切な時期の散布について協議してまいります。

産業課関係

問 病害虫防除協議会の（薬剤）散布時期が8月7日と12日と記載されている。農家からもう少し早くできないかという声があがっています。

問 農地耕作条件改善事業委託料の区画拡大や暗渠排水の実施面積はどのくらいですか。

答 実績は区画拡大が1・2ヘクタール、暗渠排水が11ヘクタールとなっております。



中学校（現地視察）

住民生活課関係

問 マイナンバーカード

問 移住支援助成金が8世帯、20人分の実績になっているがどこから移住してきたのか、また居住実態を教えてください。
答 秋田市から3世帯、潟上市から3世帯、五城目町・三種町から1世帯ずつです。居住形態は新築が5世帯、業者（仲介）が1世帯、賃貸住宅が2世帯です。

の保有率はどのくらいか。
答 交付率は本年8月末現在で75・5パーセントです。

問 消防団員基礎教育研修とあるが、どのような研修か。
答 新規に入団した団員の基礎教育研修です。

問 墓地公園についてだが、子供がいない人が増えてきており共同墓地に入りたいという意向の方もいる。共同墓地を検討



排水ポンプ（現地視察）

健康福祉課関係

してもらいたい。
答 お話の趣旨はわかりました。

問 認定こども園の病児・病後児保育事業の内容について説明してください。
答 普段預かっている子どもが体調悪くなった際に、園の医務室看護師から見てもらう内容となっています。

問 配食サービス事業のお弁当の金額、配達手段について教えてください。
答 ボランティアの方々がお弁当をつくり高齢者の見守りも踏まえて配達しています。お弁当については1000円以上の材料費を使っていますが、個人負担は400円です。

問 全国の社会福祉協議会では訪問介護事業所の人材不足により事業の中止・廃止があります。本町はどうですか。

総務課関係

問 訪問介護は本町は社会福祉協議会のみで、ヘルパーの高齢化が課題です。現実的にヘルパーになる若者が少なく、現場で作業するには経験も必要なため、今後も事業所と連携しながら町でサポートしていきます。
問 一般寄付金について、三交モーターズによる100万円の寄付金の経緯は。

答 訪問介護は本町は社会福祉協議会のみで、ヘルパーの高齢化が課題です。現実的にヘルパーになる若者が少なく、現場で作業するには経験も必要なため、今後も事業所と連携しながら町でサポートしていきます。

問 建物災害共済金については、どこがどのような災害にあったのか。
答 突風による町民体育館の外壁の破損、大雪による9区10区児童館の屋根の破損、ほか1件です。



川崎地区（現地視察）

各常任委員会の審議

総務産業 常任委員会

●補正予算関係議案

●陳情 3件 1件

◆一般会計補正予算審議

※総務課及び

建設水道課関係

問 大雨被害により道路の片付けをしたとのことだが、土砂等の運搬した量はどれくらい



か。

答 量は把握しておりませんが、予備費で対応した道路清掃費では42万円程の支出がありました。今後は側溝に溜まった土砂の撤去を補正予算で対応してまいります。

※産業課関係

問 高岳山いこいの森整備工事について、来年度実施予定の工事を前倒しするための予算措置か。

答 県補助金の増額が目途が付いたことにより実施するものであり、安全上の観点で4メートル設置した方が良いという進言があり、現在の予算では19メートルしか実施出来ず、残りの21メートルを今年度実施出来ないか県に相談したところ、工事

費の増額が可能とのことであり予算措置したものである。

問 地域商品券事業は地方創生臨時交付金を充当財源としていると思うが、足りない分は一般財源ですか。

答 地方創生臨時交付金3,689万7千円で一般財源が1,969万9千円となります。

◆上水道特別会計 補正予算審議

問 五城目町への給水支援については迅速な対応をしてもらいありがたかったが、その実績は。

答 五城目町への給水量は334立方メートル、料金で換算すると約8万8千円となります。

教育民生 常任委員会

●補正予算議案 3件

●陳情 1件

◆補正予算審議

問 障害者支援施設等物価高騰対策事業費補助金は町内施設と言ふことだが、町外入所者も該当なるのか。

答 今回は定員数での支給となる。入所系が一人当たり1万2千円、通所系が6千円となります。

問 災害救助費の修繕料は町の実績によるものか。

答 国の災害救助法に基づくもので半壊には1世帯当たり70万6千

円、準半壊には34万3千円と規定されています。

問 被災者生活再建支援金は町独自で制度を作ったのか。

答 国の被災者生活再建支援法が本町に適用ならなかったため、著しい被害を負った世帯を支援するため法に準じた要綱にしました。

問 通学用リュックサック購入費の内容について。

答 素材はナイロン製、重さは930グラム、サイズは幅25センチ、高さ35センチ、奥行き16・5センチでランドセルと同じ大きさです。

(教育長「重いランドセルを背負う児童への配慮、保護者負担の軽

減を考慮したことによる。」)

問 後期高齢者人間ドック助成金(の追加補正)はなぜか。

答 当初15名で予算措置しましたが、すでに14名の方が申請しており、今後の申請見込みを考慮して5名分を追加補正したものです。



「八郎潟町議会改革」に関する アンケート調査結果をお知らせします

- アンケート期間：令和5年8月1日～8月31日
 ○回答数：郵便回答280人、QRコード回答33人、計313人
 （※無回答、2重回答があるため回答者数と回答数は一致しません）

問1 あなたの年代をお答えください。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
郵便	0	2	1	20	26	93	105	26	6	279
QRコード	1	3	5	6	6	8	4	0	0	33
合計	1	5	6	26	32	101	109	26	6	312
%	0.3	1.6	1.9	8.3	10.3	32.4	34.9	8.3	1.9	

問2 あなたの性別をお答えください。

	男性	女性	合計
郵便	187	91	278
QRコード	23	10	33
合計	210	101	311
%	67.5	32.5	

問3 八郎潟町議員定数（現在12人）についてどう思いますか。

	少ないと思う	今のままで良いと思う	多いと思う	合計
郵便	12	137	131	280
QRコード	1	13	19	33
合計	13	150	150	313
%	4.2	47.9	47.9	

問4 八郎潟町議員の報酬（現在18万6千円）についてどう思いますか。

	安いと思う	今のままで良いと思う	高いと思う	合計
郵便	95	124	64	283
QRコード	14	13	6	33
合計	109	137	70	316
%	34.5	43.4	22.2	

問5 八郎潟町議会に政務活動費を導入することについてどう思いますか。

	必要と思う	必要でないと思う	合計
郵便	97	179	276
QRコード	13	20	33
合計	110	199	309
%	35.6	64.4	

問6 八郎潟町議会にタブレットを導入することについてどう思いますか。

	必要と思う	必要でないと思う	合計
郵便	188	87	275
QRコード	22	11	33
合計	210	98	308
%	68.2	31.8	

※自由記載のご意見については八郎潟町ホームページをご覧ください。

陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
7	令和5年5月22日	陳情	秋田市	信仰の自由・基本的人権を守る秋田県民の会 代表 笠原 尚子	全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情	不採択	総務産業
8	令和5年6月1日	陳情	秋田市	秋田市教職員組合 執行委員長 小林久美子	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採択	教育民生



議会のうごき

7月

- 3日～5日 市町村議会議員研修 (小柳)
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 19日 秋田県知事、地域振興局へ豪雨災害に関する緊急要望書作成会議 (議長)
- 24日～26日 決算審査 (監査委員)
- 28日 町民との意見交換会 (全議員)
- 30日 男鹿潟上南秋消防ポンプ操法大会

- 15日 成人式
- 18日 例月出納検査 (監査委員)
- 22日～23日 3県合同町村議会議長中央研修会 (議長)
国会議員へ豪雨災害に関する要望書提出 (議長)
- 28日 議会運営委員会
議会広報編集委員会
- 31日 議会全員協議会

8月

- 2日 秋田県町村電算システム共同事業組合定例会
町村長と町村議会議長との政策研究会 (議長)
- 9日 秋田県知事、地域振興局へ豪雨災害に関する緊急要望書提出 (議長)
- 10日 戦没者追悼慰霊祭

9月

- 5日 町民アンケート集計
- 6日～15日 9月定例会
- 19日 議会広報編集委員会 (校正)
- 21日 例月監査 (監査委員)
- 26日 町村議会議員研修会

令和5年度 岩手県、秋田県、山形県合同中央研修会

令和5年度岩手県、秋田県、山形県合同中央研修会が8月22日から23日、東京都「全国町村議員会館」で開催されました。

研修会の内容

- 講演「東北の国土強靱化への取り組みと展望」
京都大学大学院工学研究科教授 藤井 聡 氏
- 講演「地方議会の未来」
駒澤大学法学部教授 大山 礼子 氏
- 講演「これからの政局・政治動向」
政治評論家 有馬 晴海 氏

豪雨災害に関する緊急要望書を県出身国会議員に提出

8月23日、南秋田郡町村議会議長連絡協議会より県出身国会議員へ南秋田郡議長3氏と鈴木真実県議会議員が訪問し、7月14日からの豪雨災害に関する緊急要望書を提出しました。



編集後記

暑い暑い夏が去りました。教育について竹千代(徳川家康の幼名)は、8歳から12年間今川義元の人質となり躰等、教育の大事な時期の師匠が今川義元を育てた和尚だったといいますが。今も昔も人間形成にとって教育の大切さを知らされました。(北嶋 賢子)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 村井 剛
- 副委員長 金 一義
- 委員 北嶋 賢子
- 石井 清人
- 山井 裕平
- 柳田 裕平